



ごあいさつ

保健医療学部長 大日向 輝美

紅葉の美しい景色も見頃を終えて、雪の便りを耳にする季節となりました。保護者の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本学の教育・研究にご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。



保護者の皆さまもご承知のとおり、昨今、大学を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。とりわけ大学関係者の中で「2018年問題」とされる18歳人口の減少は、多くの大学に影響を及ぼすと予測されています。既に私立大学では定員割れが増えています。18年以降は存立危機を迎える大学が急増し、地方国公立大学にまで及ぶとの指摘もあります。本学のような社会的ニーズの高い医療系大学の場合も決して例外とはいえない状況となりました。

これまで医療系大学は特別なことをしなくても学生が集まり、そこそこの経営が成り立つ時代が続いてきました。保健医療学部においても開設から20余年、さほど苦勞をしなくても優秀な学生が集い、優れた医療人を送り出すことができておりました。しかし、18歳人口の減少に加え、医療系大学が漸増する道内の状況にあつて、本学部においても生き残りをかけた取り組みが求められるようになってきました。そうしたなかで先ず取り組まなければならないのが、教学の改善・改革であろうと考えます。学生に何を教えるのか、どのような学生を育てるのかという教育課程、そしていかに学生を支えていくかという学生支援の充実と改善が、最優先で着手しなければならない重要事項といえるでしょう。保健医療学部ではこれらを喫緊の課題として、現在、学部をあげて取り組んでいるところです。職業に直結する教育機関であるが故にこれまで十分とは言えなかったキャリア教育に関して、早期からのキャリア設計に資することをねらいに「保健医療セミナー」を開催するなど、新しい試みを積極的に導入しております。

保健医療学部がこれまでに築き上げてきた教育・研究・実践の実績を背景に、人々の生活を健康面から支える役割を担う学部としての存在意義を、これからも揺るぎないものとしなければならないと考えます。教職員一同、学生たちが将来にわたって誇りをもてる大学とするための改善・改革を推し進めて参ります。

寒さとともにインフルエンザ等が流行る季節が到来いたします。どうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

【平成27年度 前期学事予定】（1～3学年）

4月3日	入学式
4月6日～4月10日	「保健医療総論1～3」（1年生～3年生）
4月13日	前期講義開始
6月11日～6月14日	大学祭
6月25日	大学記念日
8月3日～9月6日	夏季休業（1・2年生）
9月7日～9月25日	前期定期試験（1・2年生）
8月3日～8月28日	夏季休業（3年生）
8月31日～9月11日	前期定期試験（3年生）



行事紹介

保健医療学部特別説明会 平成27年7月4日（土）開催

適切な人物に入学していただくため、昨今の大学は様々なイベントを企画して受験や学生生活に関する情報を発信します。このイベントの代表的なものがオープンキャンパスですが、今年度、保健医療学部ではオープンキャンパスとは別に、特別説明会というイベントを企画し、開催しました。

オープンキャンパスのコンセプトが学部の特徴や学生生活を広く知っていただく事ならば、今回の特別説明会は「本学部が求める人物像」に触れながら、「医療人の特質と適性」に関する講演、「本学が求める英語、数学、理科などの基礎知識の重要性」に関する教員からのメッセージ、「本学部の面接試験」に関する説明など、本学部の受験を真剣に考えている高校生を想定し、情報発信することを目的としています。

当日は313名の高校生が本学臨床講堂に集い、真剣に聞き入る様子が印象的でした。また参加者より事前に多くの質問をいただいております。その回答をまとめた冊子を作成し全員に配付しました。アンケート調査の結果、参加者の満足度は非常に高く、来年度も同様に企画し、本学部の正確な情報を発信したいと考えております。

(理学療法学科教授 小塚直樹)



保健医療セミナー 平成27年7月31日（金）

保健医療セミナーは、保健医療学部2年生および3年生を対象に、北海道における保健医療職の臨床での活動の実際を理解し、学生自身が就く専門職に対する具体的なイメージを持つとともに、保健医療職としての役割について考えることを目的として、今年度はじめて開催しました。講師として本学の卒業生である太田文香氏（札幌医科大学附属病院、平成19年度看護学科卒）、水本淳氏

（北海道保健福祉部地域医療推進局、平成17年度理学療法学科卒）、岩永輝明氏（札幌すがた医院、平成14年度作業療法学科卒）を迎え、講演とシンポジウムを行いました。



太田文香氏



水本淳氏



岩永輝明氏



シンポジウムの様子

講演では、本学卒業後の経歴や、写真や動画も交えながら病院・施設、地域、行政での仕事の実際について、シンポジウムでは、多職種連携における各専門職の役割や大事にしていること、学生のうちにやっておくべきこと等をお話いただきました。卒業生の生の声を聞くことができ、学生からは「病院だけでなく、様々な場所での仕事内容を知ることができ視野が広がった」「現場の具体的な話が聞けて、今の演習や実習とのつながりがわかり、これから頑張ろうと思った」といった感想が寄せられました。

(看護学科教授 長谷川真澄)

第65回札幌医科大学大学祭 ～テーマ『紡』（つむぎ）～ 平成27年6月11日（木）～14日（日）開催

今年で65回目になる大学祭では、普段は建物の違う医学部・保健医療学部の学生が一緒に、さまざまなイベントを企画・運営しました。なかでも、お笑い芸人を間近で見られる「おわらいぶ」、各部活の1年生がステージでパフォーマンスをする「サークルアピール」は大変盛り上がり、学生に人気でした。また附属病院に面したグリーンロードでは、有志でたくさんの店を出し、患者さんやご家族、病院の方にも楽しんでいただきました。

(看護学科3年 秋庭正宏)



授業紹介

生理学

医療に携わる人は「生命の理（ことわり）」を知る「生理学」を修めることが必須であり、保健医療学部では「生理学」が3学科ともに1年次の必修科目となっています。

「生理学」は様々な内臓の働きに関する「植物性機能」と脳や神経系の働きに関する「動物性機能」に分けられます。看護学科は主に「植物性機能」、理学および作業療法学科は「動物性機能」に重きが置かれた授業構成となっており、一部の授業は3学科合同で行われますが、その他は看護学科と理学・作業療法学科で分けて行われます。また理学・作業療法学科では「生理学実習」が2年次の必修科目となっており、自らのからだの様々な生理機能の測定を実際に体験します。複数の高額な機器が用いられており、ハイレベルな実習内容となっています。

(科目担当責任者 作業療法学科教授 松山清治)



生理学



看護技術総合演習（看護学科4年）

「看護技術総合演習」は卒業年次の4年前期に開講される科目で、これまで学習した知識・技術・態度を統合し、臨床での看護実践能力を高めることを目的としています。この科目では提示された事例に必要な看護計画を立案する学習、看護計画を実践するために必要な看護技術演習などを行い、学習の成果を客観的臨床能力試験（OSCE）によって評価します。OSCEでは模擬患者（SP）に対して面接や日常生活援助技術を実践し、その場でSPと評価者からフィードバックを受けます。OSCEに協力していただいたSPからは、学生の真摯な態度や笑顔での対応に良い評価をいただきました。学生からは課題の大変さはありながらも、「SPからのフィードバックを受け取ることができて良かった」「改めてコミュニケーション能力や看護技術の大切さを学ぶことができた」という感想が聞かれました。

(科目担当責任者 看護学科准教授 佐藤公美子、科目担当者 看護学科講師 鳥谷めぐみ、他)

看護技術総合演習

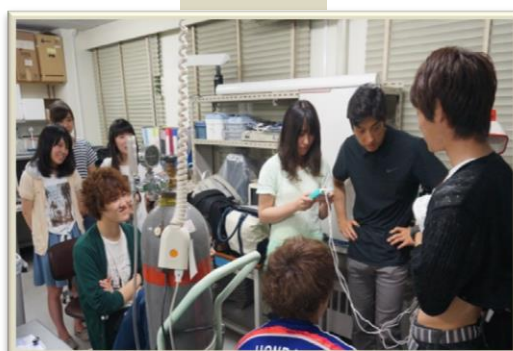


運動生理学（理学療法学科2年）

リハビリテーション職の1つである理学療法では、種々の疾患を有する対象者において、オーダーメイドの“運動処方”を通じ、基本的動作能力の獲得を目指します。理学療法学科において、本科目は、1年次の解剖学や生理学を受講し、体の構造や機能を理解した上で、2年生の前期に開講されます。その目的は、理学療法の対象者に対して、有効かつ安全な運動を、根拠に基づいて処方する能力を養うことであり、そのために、一過性あるいは長期的な運動が体の諸機能に及ぼす作用について詳しく学びます。本科目は、理学療法学の基礎をなす学問領域に属し、その学習内容は、その後3年生から開始される理学療法治療学において、各疾患領域の運動療法を考える上での基盤となります。

(科目担当責任者 理学療法学科講師 山田崇史)

運動生理学



作業療法評価学2（作業療法学科2年）

「作業療法評価学2」は、2年生の後期に開講される演習科目であり、作業療法の評価で必要となる評価手技や評価方法の学習を目的とした内容となっております。

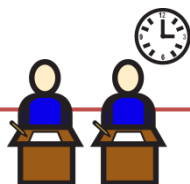
学生たちは、これまでに解剖学、生理学、運動学に加えて、作業療法の評価に関する基礎的な学習を終えており、これらの科目で学んだ知識をベースに、評価に関する演習に臨んでおります。

写真は、関節可動域を測定する方法を学習している様子となります。学生は、教員のデモンストレーションを見学したのちに、学生同士で検査者役・患者役となり、関節の角度を測定する際の留意点やコツを学んでゆきます。こうした演習は、3年生の後期以降に行われる臨床実習のための準備となるため、学生たちは真剣に取り組んでおります。

作業療法評価学2



（科目担当責任者 作業療法学科教授 太田久晶）



保険の加入について

本学部では臨床実習の実施にあたって学生の皆さんに実習中の様々な事故等に備え、「臨床実習総合保障制度Will」へ加入していただくこととなっております。この補償制度は、臨床実習中の感染事故の補償や、第三者に対する賠償責任への補償に加え、実習における予期せぬ損害及び個人情報漏えい事故に対応する等、補償内容が充実しております。

医療施設等からは、学生の実習受け入れに際し、実習中の予期せぬ事故等に対応する保険制度に加入していることが求められつつあります。つきましては趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

※加入期間は入学年度、学科等により異なります為、別途学生あてにご連絡いたします。



【平成27年度 後期学事予定】（1～3学年）

9月14日～	看護学科臨地実習（3年生）
9月28日～	後期講義開始
10月22日～10月24日	体育祭
12月11日	文化芸術祭
12月21日～1月3日	冬季休業
1月18日～1月22日	作業療法学科臨床実習（1年生）
1月25日～1月29日	看護学科臨床実習（1年生）
1月27日～3月17日	後期定期試験・臨床実習（理学療法学科3年生）
2月1日～2月12日	看護学科臨床実習（2年生）
2月16日～3月4日	後期定期試験（1・2年生、作業療法学科3年生）
3月18日	卒業式



【お問い合わせ先】
札幌医科大学事務局学務課保健医療学部教務係
電話：011-611-2111(内線2192)